

県医労新聞

2015年1月
盛岡市内丸11番1号
岩手県医療局労働組合
電話 019-623-8271
FAX 019-623-8273
URL <http://www.iwate-ken-irou.org/>

編集発行人
中野 るみ子
毎月1回発行1894号(月刊109号)



迎春

ひつじ(写真提供=連合通信社)

目次

一頁	新春インタビュー
二頁	新年あいさつ 支部ニュース
三〇四頁	女性部ニュース
五頁	11・22県民集会 病院給食問題全国交流会 NPT代表派遣
六頁	青年部ニュース
七頁	つぶやき 当選者発表 被災病棟の再建は今
八頁	イエローカード
裏表紙	新春パズル 一月、二月の予定 お知らせ

その人らしさを大切にする そんな看護をめざしたい

釜石支部 ○○ ○さん



笑顔の素敵な○○さん

昨年4月から釜石病院で助産師として働き始めた、○○さん。準夜明けに、明るい笑顔でインタビューに応じてくれました。組合活動参加の感想や、今後の抱負を伺いました。

助産師を めざした理由



看護学校3年生の実習で、重度身体障害児にふれ「いろいろな人がいて素敵だな」と思いました。その時「障害児であつても、一人ひとりに誕生を喜ばれる権利がある」と感じ、助産師の道を選ぶきっかけになりました。

仕事で感じる事



病棟勤務は、赤ちゃんから幅広い年代の方がいて、学ぶことが多く大変です。あたたかい言葉をかけていただいた時、この仕事について良かったと思います。まだまだ業務について行けず、やってみたいことも充

分に出来ないのですが、先輩からアドバイスを受け、振り返りながら、日々頑張っています。分娩により家族が増え、産婦さんとご家族が変わっていく様子を見ることに、喜びと責任を感じます。

組合加入の きっかけ



職場の先輩に誘われて加入し、5月のミーデーに参加しました。他の職種の人にも集まり、労働者の権利を確認したり、パレードして楽しかったです。10月のフ



フレッシュセミナー夕食交流会で団結ガンバロー

休日の 過ごし方



フレッシュセミナーでは、たくさんの権利があり、守られていると感じました。参加して良かったです。

動物が好きなので、実家で飼っている犬とウサギに会いに行きます。あとは、友達と学生時代過ごした仙台上に、買い物に行くことで、リフレッシュしています。

今後の抱負



妊婦さんと関わっていて、技術が未熟なために、声かけなど相手を気づかうという、大切なことに配慮できていないと感じます。これからは、その人らしさを大切に出来る関わりをしていきたいと思っています。2年目は、分娩介助25例を目標に、母乳援助を頑張りたいです。

あけまして おめでとぅございます

中央執行委員長 中野るみ子



患者・県民のみなさんの後押しを受けて、「県立病院の職員定数拡大」の請願が県議会で採択され、条例改正がされた昨年。しかし現実には職場で増員の実感なく、ますます厳しい労働環境になっています。

昨年末、医療局当局へ提出したイエローカードには「毎日の激務、超勤でみんなクタクタ。誰が倒れてもおかしくない状況」、「パワハラがひどい」、「超過勤務

をきちんと書きたい」等過酷な実態、切実な問題が寄せられています。

先日、労働局との懇談をした際、「過酷な労働実態では人は入って来ない。そのことがますます労働環境を厳しくさせる。人は辞めてしまい、人は来ない。この負のスパイラルを止めるには、経営戦略として労働条件の改善を位置づけることだ」と強調されました。

まさに、私たちが求める辞めない職場作りではありませんか。「忙しく、慌てて仕事をしていたら間違っても起こりやすくなる」とも指摘されました。

一方、昨年6月の「医療・

介護総合法」の強行により、患者負担増や医療の提供体制の縮小・再編、介護の利用者負担増・制度の改悪がすすめられています。

憲法9条がじやまで、変えてしまいたい勢力が、軍備増強と改憲を準備しています。東日本大震災津波からまもなく4年。住民のみなさんのいのちと健康、くらしが心配です。

「いのちが大切」だから、何よりも私たちが声をあげる時。団結こそ力です。怒りをエネルギーに変えて、ともに前進していききたいと思っています。今年もよろしく願います。

支部学習会を開催しよう

様々な学習会が支部で開催されています。業務が忙しいなかで、学習会を開催することは大変ですが、短時間でも少人数でも集まって学習することが大切です。各支部で学習会を企画し、働く上で必要な知識を身につけましょう。

医労連共済(遠野)

11月20日に遠野支部で開催され、約20人が参加。医労連共済会本部の方を講師に、基本的な医療・入院保障の説明だけでなく、火災共済や自動車共済なども説明していただき、「分かりやすかった」との感想が聞かれました。

権利について(江刺)

11月27日に江刺支部で開

催され、約40人が参加。休暇に関する事を中心に学習しました。職場での権利行使には、職員同士で「お互いさま」の気持ちも重要と確認しました。

衛生委員会(南光)

12月8日に南光支部で支部役員と女性部役員の参加で開催。衛生委員会について多くの労働者にわかってほしいとのことで労働安全衛生の基本について学習しました。

江刺支部



オメデト



あって良かった女性部 そんな活動をめざします

来

北部

お座敷列車を満喫



北部ブロックでは、11月9日、「お座敷列車北三陸号」に乗りました。「あまちゃん」で躍有名になりましたが、ほとんどの参加者は三鉄に乗るのも初めてで、未だに震災の爪あとが感じられる風景を、久慈支部の〇〇〇女性部長やイケメン車掌さんに案内して頂きました。車内で美味しいお弁当も満喫。帰りの列車内では、〇〇〇本部女性部委員が「夜勤の有害性」について学習会を行いました。集会には、5支部・本部47名が参加し、子どもたちも多く参加しました。



帰りの列車で学習会

第40回 女性部ブロック集会

中部

焼き上がりが楽しみ



指導を受けながら粘土を成形

中部ブロックでは、11月8日、3支部13名が参加し、奥州市Zホールを会場に、陶芸教室を行いました。中には、昨日の夜勤で知って参加したという人も。初めて陶芸をする参加者がほとんどでしたが、「粘土の感触と和気あいあいとした雰囲気」が良く、講師の指導のおかげで思い描いた作品を作ることができました。「リラックスしながら作品を作れた」「焼き上がりが楽しみ」と陶芸を楽しんでいました。



昼食後、交流会も行われ「他支部の人と交流を持つことができた」と感想が寄せられました。



こたつ舟で昼食

ピーターが増えそう
な集会となり、
5支部・本部32名
(子ども含み)が
参加しました。

南部

冬の猊鼻溪もまた楽しい

大人にも大好評でした。その後は、冬の風物詩であるこたつ舟で、船頭さんの説明と唄をききながら昼食をいただき、舟下りを楽しみました。「藤棚の綺麗な時期にまた来たい」とり

南部ブロックは、12月6日、猊鼻溪で、紙すき体験と舟下りを楽しみました。紙すきは、押し花のようにレイアウトをし個性的な作品が完成しました。参加者から「来年も紙すきでも良い」と、子どもはもちろん



紙すき初体験

三陸

生花の飾りつけに癒され

じなのに、個性あふれる作品ばかり「リースの飾りつけが楽しく、あつという間の2時間でした」などの感想が寄せられ、完成したリースの話にも花が咲いていました。昼食後、生理休暇について学習し、原発などの問題についても話し合いました。3支部・本部14名(子ども含み)が参加しました。



完成した作品を手にパチリ



完成したクリスマス・リース

三陸ブロックは、11月29日、休暇村陸中宮古を会場に、生花を使ったクリスマスリースを作り、リースに使うモミの木の香りで癒され、どのような飾りつけにしようか考えながら作品を完成させました。「材料はみんな同じなのに、個性あふれる作品ばかり」

再び愛する人を
戦場に送らない

12・8 赤紙配布行動

「12月8日は、73年前、日本軍の奇襲攻撃でアジア・太平洋戦争に突入した日です」「子どもたちに平和な日本を」「あなたは愛する人を戦場に送りますか」と盛岡市大通り野村證券前で、赤紙配布行動が行われました。

毎年、この日に岩手県母親大会連絡会を中心に戦時中の召集令状・赤紙を印刷したチラシを街頭で配布し、宣伝行動を行っています。今年は、特定秘密保護法の施行が10日にせまる中、安倍内閣の「戦争をする国」づくりは許さないと訴えました。県医労からは2名が参加しました。



署名に応じる女性

給食の患者負担が2倍近くに!?

12月6、7日に静岡県伊東市「ホテル暖香園」で日本医労連病院給食問題全国交流集会が開催され、全国から70人が参加し、県医労からは5人が参加しました。全体集会では、国が来年度に給食の患者負担を一食260円から460円に変えようとしていること、調理部門のセンター化による影響や労働組合の新規結成などが報告されました。

分科会では、給食のメニューや調理技術や日々の業務に関することなど様々な内容で意見交換を行い、様々な問題を解決するには、情報の収集と給食部門だけが活動するのではなく、全部署、全組合員が一体となって活動することで道が開かれることが再確認されました。



秘密保護法が強行され、集団的自衛権行使容認が閣議「決定」される中で、日本は戦争する国への準備を急ピッチで進めています。こうした中、「戦争する国」はNO!11・22岩手県民集会」が、88団体の集会実行委員会形式で開催され、600人が参加。県医労から10支部本部23人が参加し、岩手弁護士会も共催しました。

集会では、「世界がもし100人の村だったら」の著書で有名な池田香代子さんが「気がつけば、戦争する国になっている問題」を講演。各地のリートリーク後、市内をデモ行進しました。



「戦争する国」は
NO!

「若者を戦争に行かせない!」と県民集会
88団体の実行委員会が主催し、600人参加



2015年NPT 再検討会議へ始動

核兵器廃絶へ
新たな一歩

世界が核兵器全面禁止・廃絶に進むのかどうか問われる「NPT（核不拡散条約）再検討会議」が、2015年4月27日～5月22日まで、ニューヨークで開催されます。

日本原水協は、NPT再検討会議の傍聴、各国代表団への要請、運動の交流を行い、「核兵器全面禁止アピール」署名を提出するため、代表団を派遣。県医労からは〇〇〇〇〇中執を送り出します。

これに向けて、県医労でも署名と代表派遣カンパに取り組みます。500円以上のカンパでカードケース（写真）を差し上げます。各職場での積極的な取り組みをお願いします。

明けまして ♪ おめでとう ♪ ございます



青年部長 ○ ○ ○ ○

昨年、皆さんの職場はどうでしたか？
慢性的に人手が足りない、忙しくて休みがろくに取れない日々を
過ごしていませんか？

青年部では色々なイベントを企画しています。
フレッシュセミナー、中央交流会、スキースノボ交流会、
さらに岩手医労連やいわて労連、地域労連などの青年部の
イベントと合わせると盛りだくさんあります。

いつもとは違う環境で楽しい企画、楽しい仲間がいて、
色んな話も出来ます♪

知り合いがいないから行きづらい、休日はゆっくり休みたい方も
いるかも知れませんが、気分転換に参加してみませんか？

本年も県医労青年部委員会一同、よろしくお願いします。

岩手医労連青年部ウインターアクト in 紫波

と き

2015年2月14日(土)～15日(日)

ところ

ラ・フランス温泉館 ホテルゆらら

内 容

14日(土) 13:30 受付
14:00～16:00 講習
18:00 夕食交流会
15日(日) 9:30 紫波フルーツ
パークへ移動
10:00～12:00 ピザ作り体験



講 演

講 師

大田宣承さん

特別養護老人ホーム
「光寿苑」総合施設長

岩手県医療研究集会や県医労女性部定期大会
などでも講演されています。



つばざき

二〇一四年ももうすぐ終わり。一年が経つのが早いような気がします。二〇一五年は今年よりまたくさん笑える年になればいいなあ…。

大船渡支部 軟体動物

先日受けた人間ドッグで発覚した私の病気は脂肪肝。一人暮らしに酔いしれて、毎日楽しんだ一杯がこんな結果を招くとは…。しかし、年末年始に待ち受けている誘惑に勝つ根性…。私にはありません！

江刺支部 がつつり脂肪肝

県医労新聞いつも楽しくみています。特に楽しみなのは、笑顔の中野るみ子さん（委員長）を見つけることです。

久慈支部 H O Z U なし

今年もあと一ヶ月を残

すのみ。年次は一〇日以上も無駄に捨てる様な気がして…。気軽に年次も取得できて、心も体もリフレッシュできる体制が出来たら良いですね。

中央支部 うさぎちゃん

県内どこにでも行かなければならない異動はどうか改善してほしいものです。自分のキャリアプランやライフプランを少しでも実現できる職場であって欲しいです。

南光支部 いかぴー

当選者発表

11月号パズル

11月号パズル「まちがいは7つ」には27名の応募があり、全員が正解でした。厳正なる抽選の結果、次の10名が当選されましたので図書カードを贈ります。

■11月号当選者(敬称略)

ガタゴンの卵(久慈支部)、お座敷列車、ぬぬ(以上、二戸支部)、じゃがいもの花、すべありぶ、うさぎちゃん(以上、中央支部)、ダメな嫁(中部支部)、着ぶくれ(江刺支部)、はなちゃん(大船渡支部)、みーたんママ(宮古支部)

最近の食卓にのるのは鍋。野菜たっぷり何でも入れて。手抜きしているわけではないけれど、手抜きになるのかな。

中央支部 ちよび



被災病院の再建は今

東日本大震災津波から4年になろうとしています。仮設診療センター・病院として地域医療を支えている大槌・山田病院は2016年に、高田病院は2017年に再開する予定です。現在、大槌病院は、敷地内に医師公舎及び職員公舎も併設される予定で、大槌町寺野地区のふれあい公園内に用地造成が終了し、現在は

建物を支える杭を地中に埋設する作業や建物の基礎をつくるために土を掘削する作業が行われています。また、山田病院は、山田町折笠地区の山田中学校北側で用地造成が始まっています。高田病院は、氷上山麓地区に決定していますが、来年度からの建築予定になっています。仮設の診療センター・病院では、毎日たくさん患者さんが診察の順番を待ち、職員は丁寧に対応しています。一日も早い病院の再開が望まれます。



工事中の大槌病院(上)と山田病院(下)

イエローカードに職場の声

せめて年末年始は、特別な対応を！

雪の中、医療局にシュプレヒコール



県医労単独の決起集会としては、数年ぶりとなる秋年末闘争中央決起集会が、12月2日(火)、「盛岡市勤労福祉会館」を会場に開催され、11支部本部52人が参加しました。

集会は、年末年始の労働条件を中心に、職場での人手不足、権利侵害の実態を告発するもので、集会に参加できない組合員向けにイエローカードも準備し、職場の生の声を集めました。



〇〇書記長が団交報告

集会では、岩手医労連、いわて労連から激励を受け、21人の参加者を組織した中央支部、年末年始の交渉を早くスタートさせた千厩支部、これから交渉を予定している南光支部から、それぞれ職場の実態や、「年末年始が特別な期間からだの休日になれ、悔しい思いがいっぱいだ」などの職場の声、今後の取り組みへの決意が報告されました。

集会後、医療局棟前に移動し、雪の中でしたが、力強く「医療局は現場の実態をしつかり見ろ!!」とシュプレヒコールを響かせました。

毎日の激務、超勤でみんなクタクタです。誰が倒れてもおかしくない状況です。明らかに人員不足なのになぜ補充がないのでしょうか。体調の自己管理ももはや困難です。



朝から晩まで立ちっぱなし。昼食取ってすぐ仕事。体が休まらない。超過勤務が多すぎてこのままずっと続くのかと思うと辞めたい!

私は25年間毎年、年末年始働いてきました。29日～3日までの6日間で、毎年4～5日働いています。家族とのんびりしたことは一度もありません。休みたい人もいますので、自分は働いてきました。みんな自分を犠牲にして、我慢して働いています。もう我慢も限界です。

このままでは誰も働かたない職場になってしまいます。新卒者も、若い人も、ベテランも…。そうなるからでは遅すぎます。どうか現場職員の声を聴いて下さい。そして応えて下さい。地域医療が崩壊してしまいます。

みんな体調を崩しています。このままでは働ける人がいなくなります。笑顔で仕事するよう心がけていますが、患者さんに休んだ方がいいと心配してもらい涙が出る毎日です。みんな自分の仕事でいっぱい毎日残業です。みんなが休めるだけの増員をお願いします。

県医労支部長会議・旗開き

と き **1月16日(金)** 13時30分～ 支部長会議
18時～ 新春旗開き

ところ **愛真館** (盛岡市つなぎ)



春闘学習会

と き **1月17日(土)** 9時～12時 講義①「パワーハラスメントについて(仮)」
ところ **愛真館** (盛岡市つなぎ) 佐々木良博 弁護士
講義②「農業改革・TPPについて(仮)」

上下どちらかの絵に7つの間違い箇所をハガキに貼付して、応募して下さい。正解者の中から、抽選で20名の組合員に図書カードを送ります。送先は〒020-0023 盛岡市内丸1-1、県医労「懸賞パスル」係まで。締切は1月末日(必着)です。また、抽選には関係ありませんが、ハガキの余白に「つ

新春パズル



2015年 7つの間違い
新春クイズ



ぶやき」(職場の話題など何でも)を、ぜひ一言お書き下さい。県医労新聞で紹介する場合があるので、匿名希望の方は必ずペンネームをお書きください。ただし、当選した場合は、記念品の送り先が必要となりますので、支部名・本名の記入をお忘れなく!

1月の予定

- 9日(金) いわて労連春闘共闘年次総会(教育会館)
いわて労連春闘共闘旗開き(サンビル)
- 16日(金) 県医労支部長会議&新春旗開き(愛真館)
- 17日(土) 県医労春闘学習会(愛真館)
日米合同訓練オスプレイ参加反対沖縄県民と連帯する岩手県民集会(滝沢市公民館ホール)
- 17日(土)～18日(日) 青年部スキー・スノーボード交流会(安比グランド)
- 24日(土) 岩手医労連中央委員会(エスポワールいわて)
岩手医労連新春旗開き(エスポワールいわて)
- 25日(日) いわて労連評議員会(岩手県自治会館)

2月の予定

- 7日(土)～8日(日) 日本医労連東北地方協春闘討論集会(大観)
- 14日(土) 県医労第153回中央委員会(エスポワールいわて)
- 14日(土)～15日(日) 岩手医労連青年部ウインターアクト in 紫波
- 21日(土) 岩手医労連女性部労働学校(盛岡市勤労福祉会館)
- 28日(土) 岩手県社会保障学校(アイーナ)

